

## 事後評価結果

課題管理番号 : 17ek0109138h0003  
研究開発課題名 : 広汎型侵襲性歯周炎治療のための内在性/外因性増殖因子を吸着する分解性 $\alpha$  TCP  
P スキャホールドの開発  
研究代表機関名 : 国立研究開発法人国立循環器病研究センター研究所  
研究開発代表者名 : 山岡哲二

評価委員会のコメント :

### ○評価できる点、推進すべき点、研究事業にとって必要である理由

ヘパリン化 $\alpha$  TCP 多孔質体での優れた組織誘導能を見出し、新たな治療法開発の可能性を示した。  
汎用性のある技術である。

広範型侵襲性歯周炎の新規治療法開発のためにヘパリン化多孔体のスキャホールドとしての有用性を明らかにし、これをさらに $\alpha$  TCP に応用して生体適合性の高いスキャホールドを開発しようとしており、それなりの成果もみられている。

新たなヘパリン化 $\alpha$  TCP 多孔体による歯周組織再生療法の開発のプロセスとして大型動物での検証をすすめた。

### ○疑問点、改善すべき点、その他助言等

今後の開発のためには、現場での使われ方を想定して、製品としての規格設定を考えるべき時期に来ている。

当初目的が治療法の確立であったが、これを中止し、目的と離れた研究を行った。

今回得られた結果は、まだ診療ガイドラインに提供するエビデンスとしては弱い。また $\alpha$  TCP スキャホールド自体は整形外科領域ではすでに使用されている。

診療の質向上の難病研究としては第一フォーカスである診療ガイドラインに提供するエビデンスとしては、未だ非臨床での研究であり、高くは評価できない。最終製品の確立、臨床モデルとしての妥当性、安全性、臨床における評価法の確立などの研究が必要である。

以上